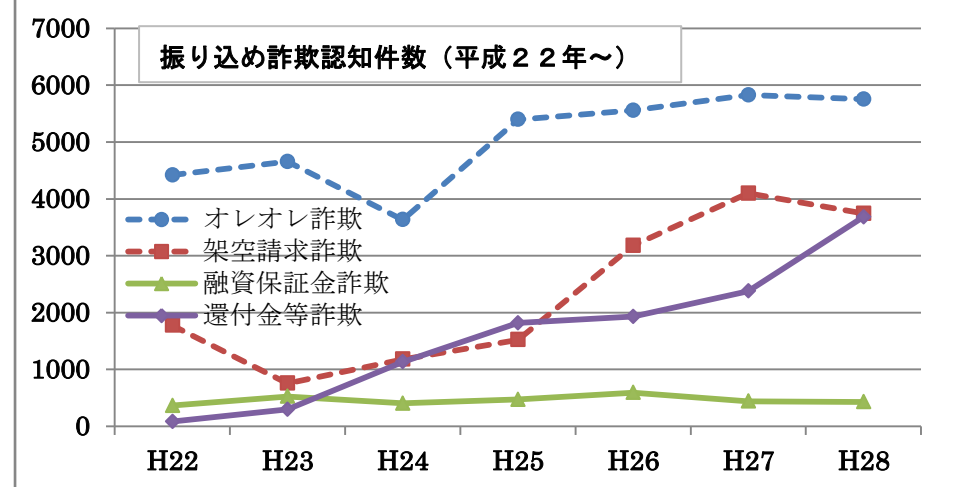


＜特殊詐欺関係情報＞＝その1＝

・特殊詐欺とは、通常の詐欺とは異なり、面識のない不特定の者に対し、電話その他の通信手段を用いて、銀行口座に振り込みさせたり、その他の方法により、現金等をだまし取ったりする行為のことをいいます。その手口としては、「振り込め詐欺」と「振り込め詐欺以外の特殊詐欺」に分けられます。

- ◇振り込め詐欺 → オレオレ詐欺・架空請求詐欺・融資保証金詐欺・還付金等詐欺 等
- ◇上記以外の特殊詐欺 → 金融商品等取引名目の詐欺・異性との交際あっせん名目の詐欺・ギャンブル必勝法情報提供名目の詐欺・その他の特殊詐欺（義捐金詐欺）等



平成28年の特殊詐欺の認知件数は前年に比べて約7%増加し、被害額は約5%減少しましたが、還付金等詐欺は約55%増加しています。

振り込め詐欺の被害総額は…

375億円

次号にて更に詳細情報を掲載予定。

＜人権カレンダー＞（11月～3月）

◆11月（児童虐待防止推進月間）

「虐待かなと思ったら迷わず通報」 → 短縮189

大阪府富田林子ども家庭センター（相談は0721-25-1131）
通報窓口：0721-25-2263（夜間072-295-8737）

- 12～25日 女性に対する暴力をなくする運動週間
- 20日 世界の子どもの日
- 25～（12/1日） 犯罪被害者週間
- 25日 ①女性に対する暴力撤廃国際日

◆12月

- 1～7日 「いのちの電話」フリーダイヤル週間 → 0120-783-556
- 1日 ②世界エイズ・デー
- 3～9日 ③障がい者週間
- 3日 国際障がい者デー
- 4～10日 人権週間
- 10日 ④人権デー

◆1月

- 10～16日 北朝鮮人権侵害問題啓発週間
- 15～21日 防災とボランティア週間

◆3月（自殺対策強化月間）

- 8日 ⑥国際女性デー
- 21日 国際人種差別撤廃デー・世界ダウン症の日



子ども虐待防止
オレンジリボン運動



＜編集後記＞

■当協会は、3部会（自立支援・相談・啓発）で構成されており、各々の事業・活動をとおして、平和で豊かな社会の実現に向けた事業展開を図っています。皆様のご参加ご支援をお願い申し上げます。

発行・編集：河内長野市人権協会

〒586-8501 大阪府河内長野市原町1-1-1

（河内長野市役所5階 人権推進課内）

電話 0721-53-1111（内線575・577）FAX 53-1955

<http://www.kawachinagano-iinken.join-us.jp>



人権協会だより

河内長野市人権協会

思いやりとぬくもりのある人権尊重のまちづくり

vol. 9

-2017.11.1-



人権イメージキャラクター
人KENまもる君

みんなで築こう 人権の世紀
～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう
違いを認め合う心～

平成29年度啓発活動重点目標



人権イメージキャラクター
人KENあゆみちゃん

＜29年度（下期）イベント他事業活動予定＞

※講師プロフィールは3ページ下段をご参照ください

■「人権を考える市民の集い」

- ・日時：11月25日（土）13：30～（13：00開場）
- ・場所：ラブリーホール（小ホール）
- ・内容：講演「トーク&ピアノ演奏のステージ」

～いちばん大切にしたいのは“思いやりの心”～

講師 清水 紘子さん（全日本盲学生音楽コンクール ピアノ部門第1位）

曲目：エチュード（革命）・トッカータ・子供の情景等より3～4曲



■市民サロン展示

- ・期間：11月6日～12月8日
- ・内容：（～11月22日）11月25日講演案内&「拉致問題」「部落差別解消法」

■人権週間（12月4日～10日）

- ・期間中、市内主要駅前に啓発横断幕を設置する他、市公用車にステッカー貼付等、啓発活動を展開。

■「安全安心のまちづくり市民大会」

- ・日時：12月10日（日）10：00～12：00 **人権SOS・みんな考えよう相手の気持ち**
- ・場所：キックスイベントホール
- ・内容：河内長野警察署員による寸劇、桂 三金（落語家）講演、中学生人権作文コンテスト作品発表等

■「共に生きるまちづくりをめざして」

- ・日時：平成30年1月27日（土）
- ・講演会「発達障がい児・者への理解と支援」
- ・場所：キックス大会議室
- 講師：新澤 伸子さん（武庫川女子大学教授）



■南河内人権啓発推進大会

- ・日時：平成30年2月9日（金）
- ・講演会「同和問題」
- ・場所：ラブリーホール（小ホール）
- 講師未定



■生活情報展

- ・日時：平成30年3月2～3日（金・土） 前年度の展示状況 →
- ・場所：ノバティホール 本年度のテーマ：「つなげよう未来へ 伝えよう情報」



■指導者研修 ※本年度はまだ未定ですが、前年度は「人道の港 敦賀ムゼウム」を訪問見学しました。↑

<平成29年度（上期） 事業実施状況>

■憲法週間啓発活動（4月28日～5月8日）

・河内長野・三日市町両駅前ロータリーに啓発横断幕を設置、市の公用車にマグネットステッカーを貼付。



考えよう あなたの人權 わたしの人權 憲法週間
河内長野市・河内長野市人権協会・市企業人権協議会・人権擁護委員会 5月1日～5月7日



歩道橋手すりに設置

マグネットステッカー

■市民まつり

・5月14日、テント2張りにて出展。
折り鶴等の啓発や花・野菜の苗の販売⇨



■平成29年度総会

・5月24日、市役所8階会議室にて
前年度事業報告・会計報告を行い、平成29年度計画（事業・予算案・役員体制）の承認を得ました。

■「愛・いのち・平和展」

・7月28～29日、キックス3～4階を利用し様々な展示やイベントを開催。約970名の来場者がありました。また、7月4日～7月31日の間、図書館1Fにて「水木しげると戦争」をテーマ展示。



メイン会場全体



絵手紙体験



布ぞうり作り体験



人權ポスター作成展示



食工房（すいとん・三笠焼）



女声合唱団ピアチェール



ママさんプラス milk-tea



よっつん（音タネ一座）

■市民サロン展示

・7月3日～8月15日「LGBT啓発情報」等の展示を行いました。 ⇨

■夏休み子ども平和施設見学会

・8月23日、模擬原子爆弾投下跡地やコリアンタウン見学の予定でしたが、応募者不足により中止となりました。

■夏休み子ども人權シアター（夏休み子ども教室）

・8月26日キックスイベントホールにてアニメ映画「ペット」を上映しました。182名来場⇨



■共に生きるまちづくりをめざして

・6月18日キックスイベントホールにて映画「ぼくはうみがみたくなりました」を上映しました。167名来場

・9月23日キックス大会議室にて、本年度第1回講演会を開催しました。 ⇨
テーマ：「障がい者が地域で生きるために」 81名来場

講師：細井 清和 氏（障害者の自立と完全参加をめざす大阪連絡会議 事務局）



<加盟団体個別紹介 その6>

■河内長野ライオンズクラブ

ライオンズクラブは、1917年6月アメリカ・シカゴでメルピン・ジョーンズが提唱し世界に広まりました。それは「奉仕」であり、一人ではできなくても、多くの人々が集まれば地域が変えられる相互扶助精神により1965年4月に当クラブが誕生いたしました。

この間半世紀以上たゆまない努力と、互いの暖かい友情と絆で輝かしい歴史と伝統が育まれたと思います。これも地域皆様のご指導とご厚情のお陰と感謝申し上げます。

阪神淡路大震災並びに東日本大震災という日本史上稀にない甚大な被害に、我々ライオンズのモットーである「We Serve（我々は奉仕する）」助け合いの精神が大いに発揮されたものと感じました。今後も、「温故知新」のことわざのとおり、よき伝統と悪しき慣習を見極めて地域のニーズにあった社会づくりに貢献したいと考えております。

毎年、河内長野市人権協会主催の「愛・いのち・平和展」に参加させていただき、戦争の悲惨を風化させないことや、ご来場者に「うちわづくり」体験で喜んでいただいております。

その他、当クラブの主な年間行事として①全小学校児童の国際平和ポスター展示会・表彰式②献血活動③少年野球教室等々です。今後共ご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 河内長野ライオンズクラブ 電話 0721-52-6890

■河内長野市作業所連絡協議会

平成14年4月1日、障がい者の自立と社会参加を促進するために、就労が必要であるとの認識でノーマライゼーションの理念に基づき、市内の障がい者作業所と支援組織が互いの立場を越えて、「河内長野市作業所連絡協議会」を設立しました。同年7月にオープンした市民交流センター1階で店舗型福祉作業所「カフェ くすくす」を開業するとともに、図書館内清掃訓練もエルチャレンジの協力を得て始まり、ここに障がい者就労支援の第一歩を歩みだしました。そして2年後から2名、3名と一般就労に向けて送り出すことが出来て、現在は16名が一般就労をして頑張っています。

その間、法人格を取得して運営しなければならない法律のもと、作業所運営責任者や支援組織は大変苦勞をしました。「障がい者の自立支援を実施しよう」「障がい者の差別は無くそう」と国や行政機関、有識者の皆さまから声高らかに言っていただいておりますが、現在も就職後の無理解や障がい者への差別などは変わりません。私たちは元気よく頑張っている利用者を守るために地域の皆さまとともに、今以上の努力を続けていこうと話合っています。

皆さまの継続した、心ある温かいご支援をよろしくお願いいたします。

<下期イベント（講演会）講師プロフィール>

■清水 紘子（しみず ひろこ）さん

・1977年兵庫県生まれ。生まれつきの弱視であったが、7歳で右目を、更に17歳（阪神淡路大震災の直後）で左目を失明。家族や友人に支えられながら、幼少時から親しんできたピアノレッスンを続ける。大阪音楽大学ピアノ科と卒業し、音楽を共に歩める幸せをかみしめながら、演奏と講演の活動を続けられています。

■桂 三金（かつら さんきん）さん

・明星中学・高校から関西大学まで落語研究会に所属。大学卒業後、金融機関に勤めるも落語家への夢を捨てきれず、桂 三枝（現、六代 桂 文枝）に入門。古典落語に励む一方、「ゴスペル落語」や海外公演など新しいスタイルの落語の創作活動にも取り組んでいる。また、2013年より関西大学人間健康学部「ユーモアコミュニケーション論」非常勤講師を務める。

■新澤 伸子（にいざわ のぶこ）さん

・大阪教育大学大学院教育学研究科修士課程（障害児教育学専攻）を卒業後、NPO法人「大阪自閉症支援センター（療育部長）」、社会福祉法人「北摂杉の子会 大阪発達障害総合支援センター研修相談支援室（室長）（スーパーバイザー）」、梅花女子大学心理こども学部心理学科（教授）を歴任。2017年4月より武庫川女子大学教授に就任し現在に至る。長年の研究において、発達障害児・者及び家族への支援や療育プログラムの開発等に携わっています。